

# 十小だより



令和7年度5月号 No. 628

令和7年4月30日発行

武蔵村山市立第十小学校

校長 今井 一馬

## 【教育目標】

—くすの木のように優しくたくましく—

- ・やる気いっぱい（自分で考える子）
- ・笑顔いっぱい（自分も友達も大切にする子）
- ・力いっぱい（丈夫でたくましい子）

【<http://www.city.musashimurayama.lg.jp/school/mmced10s/>】

## 「たてわりの日」がスタート ～学校全体が大きな家族のように～

校長 今井 一馬

4月に開催しました保護者会には、御多用のところたくさんの方の保護者の方に御参加いただき、ありがとうございました。子供たちも新年度の生活に慣れ始め、元気に活動をしています。1年生も「迎える会」が終わったことで、本格的に全校行事に参加し始めています。



【「1年生を迎える会」の様子】

その後も1～3年生による「働く消防写生会」があったり、4～6年生によるクラブ活動が始まったりと、子供たちがたてわりの関係で活動するものも増えてきました。

このような異年齢の学びは、将来自立するために必須のものだと考えます。実際、主に同学年で活動するのは学生時代だけであり、職場や地域の関係はとても幅広い異年齢構成です。将来、その中で一緒に働いたり、話し合ったりしていく力を学生生活で身に付けていく必要があります。

そのための新規企画として、「たてわりの日」というものを立ち上げました。昨年度までもたてわりの活動はたくさんあったのですが、時間を十分に確保できておらず、「もっと一緒に活動したい！」という子供たちの声も反映した形です。

その第1回を、4月28日に次のような流れで実施しました。

- |        |              |       |
|--------|--------------|-------|
| 9：10～  | ガイダンス        | （体育館） |
| 9：30～  | 自己紹介         | （各教室） |
|        | 全校遠足の打ち合わせ   |       |
| 9：50～  | 担当の先生による交流遊び |       |
| 10：50～ | 振り返り         | （体育館） |

ガイダンスでは、私から「たてわりの日」の意義とねらいについて説明し、その後各教室に分かれて話合いや遊びに入っていました。



【全班集まったのガイダンスの様子】

この日の目標は「遊びを通してメンバーと仲良くなること」でしたので、担当の先生が遊びの提案をたくさんしてくれました。どの教室も笑顔であられ、楽しい時間であったことが伺えます。

最後の体育館での振り返りでも、たてわり班のリーダーから楽しかったことやうれしい言葉かけ（ふわふわ言葉）についての報告がありました。次回は6年生が遊びをリードします。学校という大きな家族が、朗らかにスタートしました。

